

骨材試験成績表

目的 配合設計

報告年月日 2026年2月

報告者 津田 喜明

試験項目		試験規格	6号碎石	7号碎石	粗砂	スクリーニングス	石粉			
密度	表乾	JISA 1109 JISA 1110	2.630	2.631	2.583	2.668				
	かさ		2.588	2.591	2.539	2.621				
	見掛		2.701	2.701	2.656	2.750	2.710			
吸水量 (%)	JISA 1109 JISA 1110	1.62	1.56	1.74	1.78	0.01				
0.075mm すりへり減量 (%)	JISA 5001 JISA 1121	17.5								
安定性 (%)	JISA 1122	1.4	0.7	2.5	2.1					
骨材の微粒分量 試験通過量 (%)	JISA 1103	0.12	0.30							
軟石含有量 (%)	JISA 1126	0.0								
偏平/細長石片 の含有量 (%)	舗装調査・ 試験法便覧	1.66								
単位容積質量 g/ml	JISA 1104									
粘土塊含有率 (%)	JISA 1137	0.07	0.10							

	ふるい目の開き	6号碎石	7号碎石	粗砂	スクリーニングス	石粉			
	通過 質量 百分 率 (%)	53.0 mm							
37.5									
31.5									
26.5									
19.0		100.0							
13.2		99.4		100.0					
9.5									
4.75		4.9	100.0	98.5	100.0				
2.36		0.3	6.9	90.7	93.9				
1.18									
600 μm			0.2	47.5	47.5				
300				20.1	20.4	100.0			
150				2.2	14.6	97.9			
75			1.3	10.7	88.0				

骨材の粒径加積曲線図

目 的 配 合 設 計

報告年月日 2026年2月

混合物の種類 細粒度アスコン(13)

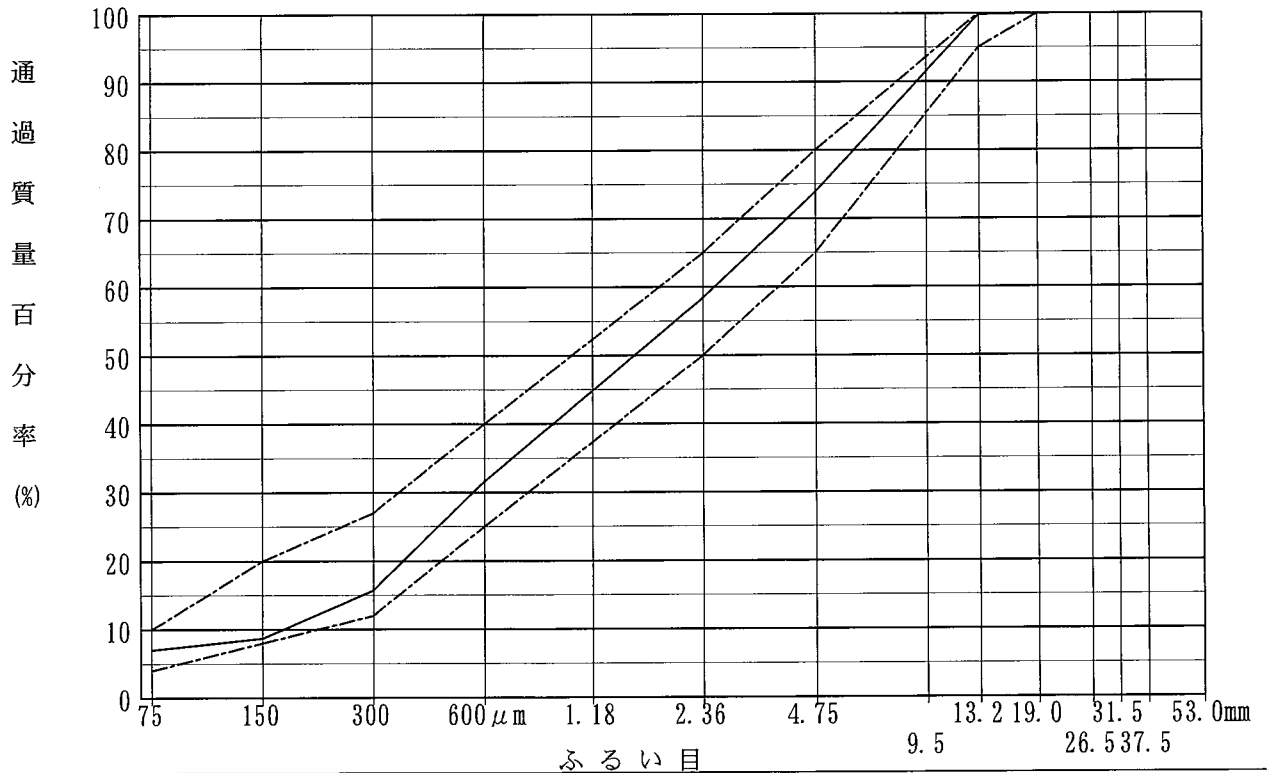
試 験 者 津田 喜明

・合成粒度

ふるい目	合成粒度	粒 度 範 囲
53.0 mm		
37.5		
31.5		
26.5		
19.0	100.0	100
13.2	99.8	95 ~ 100
9.5		
4.75	73.9	65 ~ 80
2.36	58.4	50 ~ 65
1.18		
600 μm	31.6	25 ~ 40
300	15.7	12 ~ 27
150	8.7	8 ~ 20
75	7.0	4 ~ 10

・粒径加積曲線図

----- 粒度範囲
 ————— 合成粒度



混合物の理論最大密度計算表

目的 配合設計

報告年月日 2026年2月

混合物の種類 細粒度アスコン(13)

試験者 津田 喜明

①	②	③			④	⑤
骨材の種類	骨材の配合率 (%)	骨材の密度			計算に用いる密度	$\frac{②}{④}$
		表乾	かさ	見掛		
6号碎石	27.0	2.630	2.588	2.701	2.701	9.996
7号碎石	11.0	2.631	2.591	2.701	2.701	4.073
粗砂	29.0	2.583	2.539	2.656	2.656	10.919
スクリーングス	29.0	2.668	2.621	2.750	2.750	10.545
石粉	4.0			2.710	2.710	1.476
$\Sigma ⑤ =$						37.009

⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
アスファルト量 (%)	アスファルトの密度	$\frac{⑥}{⑦}$	$\frac{\Sigma ⑤ (100 - ⑥)}{100}$	⑧ + ⑨	理論最大密度 $100 / ⑩$
5.5	1.040	5.288	34.974	40.262	2.484
6.0	1.040	5.769	34.788	40.557	2.466
6.5	1.040	6.250	34.603	40.853	2.448
7.0	1.040	6.731	34.418	41.149	2.430
7.5	1.040	7.212	34.233	41.445	2.413
6.5	1.040	6.250	34.603	40.853	2.448

マーシャル安定度試験 (その1)

目的 配合設計 試験年月日 2026年2月
 混合物の種類 細粒度アスコン(13) 試験者 津田 喜明
 アスファルトの種類 60-80 アスファルトの密度(A) 1.040 g/cm³ アスファルトの温度 156 (°C)
 骨材の温度 190 (°C) 突固め時の温度 144 (°C) 突固め回数 50 回 力計の係数(B) ロードセル(1.000)

試験条件	供試体番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦ ⑧ 密度		⑨	⑩	⑪	⑫	⑬ ⑭ 安定度		⑮	⑯
		アスファルト量	供試体平均厚	空中質量	水中質量	表乾質量	容積	かさ	理論	アスファルト容積	空隙率	骨材間隙率	飽和度	力計の読み	安定度	フロー値	備考
		(%)	(cm)	(g)	(g)	(g)	(cm ³)	(g/cm ³)	(g/cm ³)	(%)	(%)	(%)	(%)		(kN)	(t/100cm)	
標準	1	5.5	6.34	1184.2	677.0	1185.8	508.8	2.327						6.51	6.51	27	
	2		6.35	1183.3	674.3	1184.8	510.5	2.318						6.23	6.23	26	
	3		6.36	1185.1	674.5	1186.9	512.4	2.313						6.01	6.01	23	
標準	4	6.0	6.34	1189.5	681.3	1190.8	509.5	2.335						6.82	6.82	27	
	5		6.34	1190.7	683.2	1191.9	508.7	2.341						7.01	7.01	28	
	6		6.35	1188.7	679.6	1190.0	510.4	2.329						6.59	6.59	26	
標準	7	6.5	6.35	1195.9	686.0	1196.7	510.7	2.342	2.319	2.484	12.3	6.6	18.9	65.1		6.25	25
	8		6.32	1193.7	687.6	1194.6	507.0	2.354							7.09	7.09	29
	9		6.34	1195.1	686.7	1195.8	509.1	2.347							7.48	7.48	31
標準	10	7.0	6.32	1194.2	688.2	1194.6	506.4	2.358	2.348	2.448	14.7	4.1	18.8	78.2		7.28	30
	11		6.32	1193.5	686.5	1193.9	507.4	2.352							7.48	7.48	35
	12		6.33	1194.8	686.0	1195.3	509.3	2.346							7.27	7.27	33
標準	13	7.5	6.34	1195.6	686.6	1195.8	509.2	2.348	2.352	2.430	15.8	3.2	19.0	83.2		7.28	33
	14		6.32	1193.5	686.7	1193.7	507.0	2.354							7.14	7.14	33
	15		6.33	1192.9	683.7	1193.1	509.4	2.342							7.37	7.37	36
								2.348	2.413	16.9	2.7	19.6	86.2		7.12	35	

(注1) ⑤-④

(注2) $\frac{③}{⑥}$

(注3) $(1 - \frac{⑦}{⑧}) \times 100$

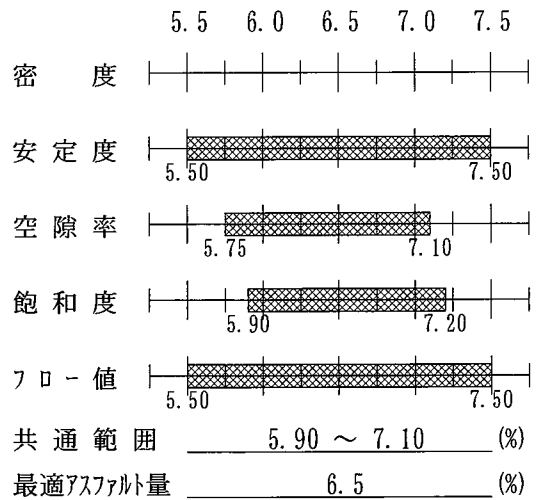
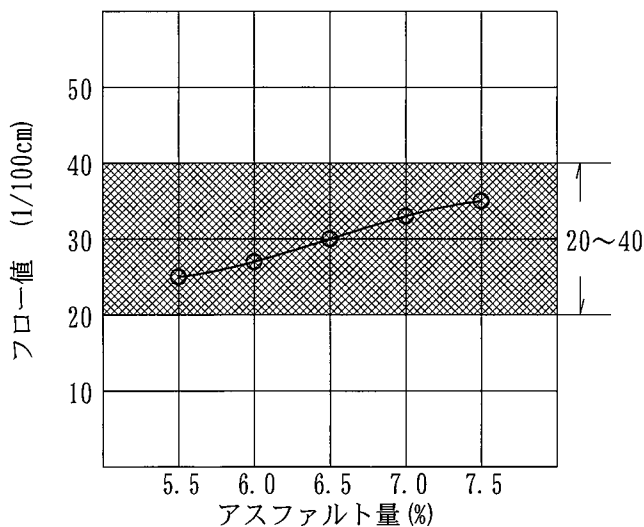
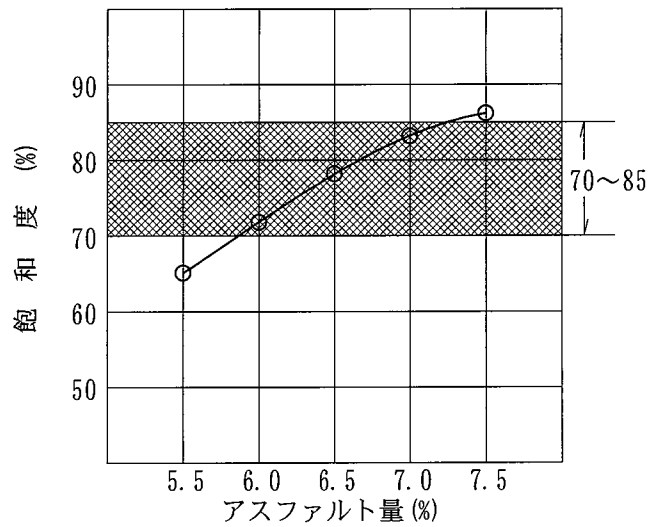
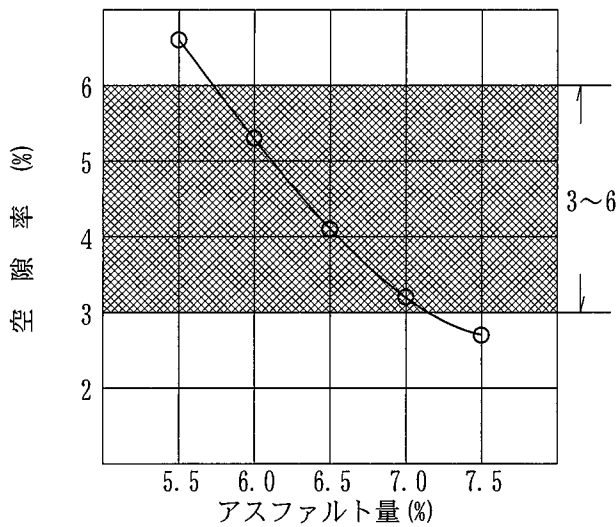
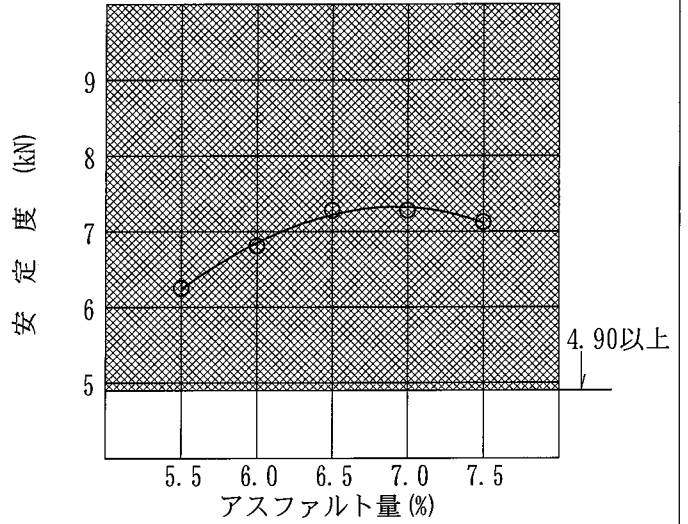
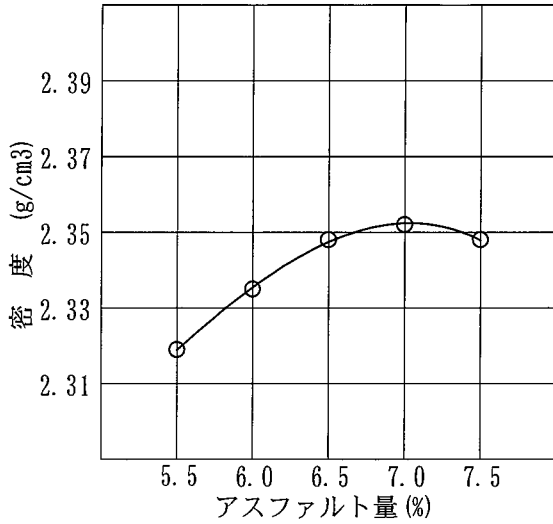
マーシャル安定度試験 (その2)

目的 配合設計

試験年月日 2026年2月

混合物の種類 細粒度アスコン(13)

試験者 津田 喜明



配合設計まとめ

混合物の種類 細粒度アスコン(13)

報告年月日 2026年2月

試験者 津田 喜明

1. 骨材配合率

材 料	6号砕石	7号砕石	粗砂	スクリーングス	石粉			
配合率 (%)	27.0	11.0	29.0	29.0	4.0			

2. 合成粒度

ふるい目	53.0mm	37.5	31.5	26.5	19.0	13.2	9.5	4.75	2.36	1.18	600μm	300	150	75
通過率					100.0	99.8		73.9	58.4		31.6	15.7	8.7	7.0

3. 最適アスファルト量

OAC・・・ 6.5 %

ホットビン粒度設計

目的 試験練り

報告年月日 2026年2月

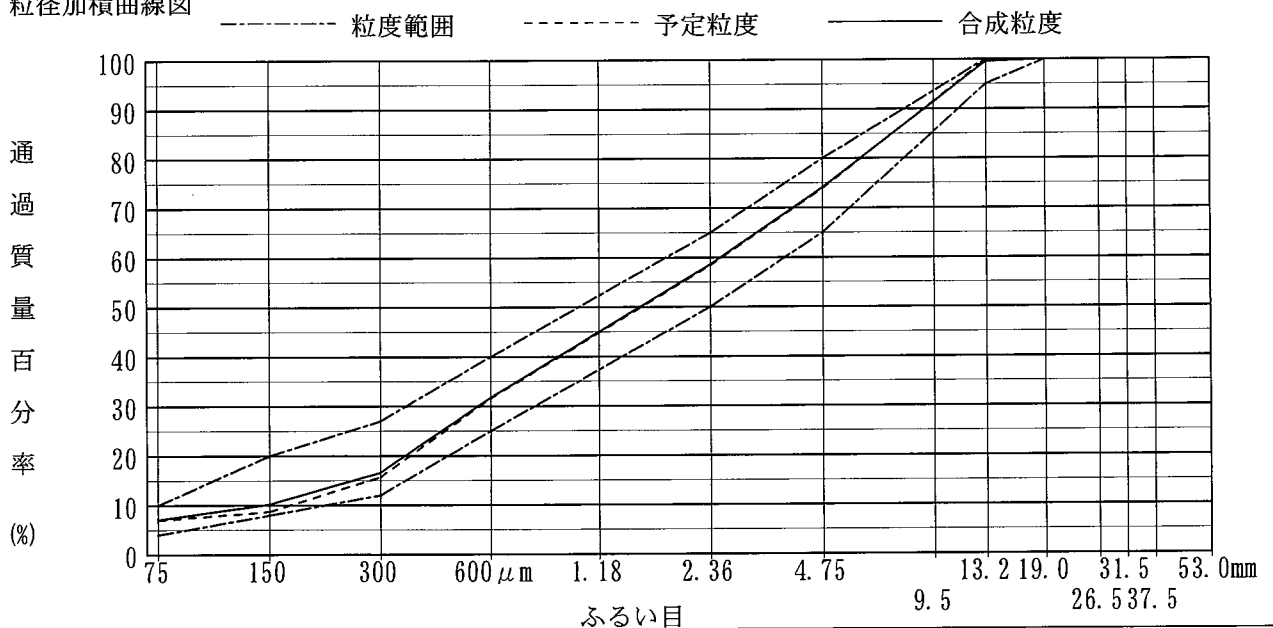
混合物の種類 細粒度アスコン(13)

試験者 津田 喜明

ビン		5 BIN	4 BIN	3 BIN	2 BIN	1 BIN	ダスト	石粉					
配合率 (A) (%)				24.0	16.0	52.5	3.5	4.0					
通過 質量 百分率	53.0 mm												
	37.5												
	31.5												
	26.5												
	19.0			100.0									
	13.2			98.2	100.0								
	9.5												
	4.75			1.5	85.8	100.0							
	2.36			0.2	1.6	96.8							
	1.18												
(B)	600 μm				0.3	46.3	100.0						
	300					17.3	99.3	100.0					
(%)	150					5.8	93.4	97.9					
	75					1.8	78.1	88.0					

ホットビンのふるい目の大きさ別配合率 (A) × (B) / 100													合成粒度	予定粒度
ふるい目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
53.0 mm														
37.5														
31.5														
26.5														
19.0			24.0										100.0	100.0
13.2			23.6	16.0									99.6	99.8
9.5														
4.75			0.4	13.7	52.5								74.1	73.9
2.36			0.0	0.3	50.8								58.6	58.4
1.18														
600 μm				0.0	24.3	3.5							31.8	31.6
300					9.1	3.5	4.0						16.6	15.7
150					3.0	3.3	3.9						10.2	8.7
75					0.9	2.7	3.5						7.1	7.0

粒径加積曲線図



混合物の理論最大密度計算表

目的 試験練り

報告年月日 2026年2月

混合物の種類 細粒度アスコン(13)

試験者 津田 喜明

①	②	③			④	⑤
骨材の種類	骨材の配合率 (%)	骨材の密度			計算に用いる密度	$\frac{②}{④}$
		表乾	かさ	見掛		
6号碎石	27.0	2.630	2.588	2.701	2.701	9.996
7号碎石	11.0	2.631	2.591	2.701	2.701	4.073
粗砂	29.0	2.583	2.539	2.656	2.656	10.919
スクリーングス	29.0	2.668	2.621	2.750	2.750	10.545
石粉	4.0			2.710	2.710	1.476
$\Sigma ⑤ =$						37.009

⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
アスファルト量 (%)	アスファルトの密度	$\frac{⑥}{⑦}$	$\frac{\Sigma ⑤ (100-⑥)}{100}$	⑧+⑨	理論最大密度 100/⑩
6.5	1.040	6.250	34.603	40.853	2.448

マーシャル安定度試験 (その1)

目的 試験練り 試験年月日 2026年2月

混合物の種類 細粒度アスコン (13) 試験者 津田 喜明

アスファルトの種類 60-80 アスファルトの密度 (A) 1.040 g/cm³ アスファルトの温度 156 (°C)

骨材の温度 195 (°C) 突固め時の温度 144 (°C) 突固め回数 50 回 力計の係数 (B) ロードセル (1.000)

試験条件	供試体番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦ 密度		⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬ 安定度		⑭	⑮	⑯
		アスファルト量 (%)	供試体平均厚 (cm)	空中質量 (g)	水中質量 (g)	表乾質量 (g)	容積 (cm ³)	かさ (g/cm ³)	理論 (g/cm ³)	アスファルト容積 (%)	空隙率 (%)	骨材間隙率 (%)	飽和度 (%)	力計の読み	安定度 (kN)	安定度 (kN)	フロー値 (1/100cm)	備考	
							(注1)	(注2)		$\frac{① \times ⑦}{(A)}$	(注3)	⑨+⑩	$\frac{⑨}{⑪}$		(B) × ⑬				
標準	1	6.5	6.33	1194.4	688.2	1195.2	507.0	2.356							7.56	7.56	32		
	2		6.34	1193.6	684.2	1194.3	510.1	2.340							7.02	7.02	30		
	3		6.33	1195.0	687.0	1195.7	508.7	2.349							7.28	7.28	30		
										2.348	2.448	14.7	4.1	18.8	78.2		7.29	31	

(注1) ⑤ - ④

(注2) $\frac{③}{⑥}$

(注3) $(1 - \frac{⑦}{⑧}) \times 100$

現場配合まとめ

混合物の種類 細粒度アスコン(13)

報告年月日 2026年2月

試験者 津田 喜明

配 合 表				合 成 粒 度		
種 類	骨材配合 (%)	混合物配合 (%)	計 量 値 (kg)	ふるい目	通過質量百分率 (%)	粒 度 範 囲 (%)
3 BIN	24.0	22.4	224	53.0mm		
2 BIN	16.0	15.0	150	37.5		
1 BIN	52.5	49.1	491	31.5		
ダスト	3.5	3.3	33.0	26.5		
石粉	4.0	3.7	37.0	19.0	100.0	100
				13.2	99.6	95 ~ 100
				9.5		
				4.75	74.1	65 ~ 80
				2.36	58.6	50 ~ 65
アスファルト		6.5	65.0	1.18		
				600 μ m	31.8	25 ~ 40
				300	16.6	12 ~ 27
				150	10.2	8 ~ 20
				75	7.1	4 ~ 10
計	100.0	100.0	1000.0			

最適アスファルト量

OAC・・・ 6.5 %